



# Cisco CSS-to-ACE Conversion Tool ユーザ ガイド

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。  
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。  
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、CSS-to-ACE Conversion Tool を使用して、Cisco Content Services Switches (CSS) 実行コンフィギュレーション ファイルまたはスタートアップ コンフィギュレーション ファイルを Cisco 4700 シリーズ Application Control Engine (ACE) アプライアンスに移行させる方法について説明します。具体的には、この Conversion Tool へのアクセス方法、このツールを使用して CSS コンフィギュレーションを ACE コンフィギュレーションに変換する方法、さらに変換したコンフィギュレーションを ACE にコピーする方法です。Conversion Tool ではサポートされない CSS コマンドについても、概要を示します。

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- [CSS-to-ACE Conversion Tool へのアクセス](#)
- [CSS-to-ACE Conversion Tool の使用](#)
- [変換されたコンフィギュレーションの確認および変更](#)
- [変換されたコンフィギュレーション ファイルの ACE へのコピー アンド ペースト ACE](#)
- [サポート対象外の CSS コマンド](#)
- [ACE アプライアンスのマニュアル](#)
- [マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン](#)



## CSS-to-ACE Conversion Tool へのアクセス

Conversion Tool は、ACE ソフトウェア イメージの一部として組み込まれており、HTTP を使用して Cisco ACE アプライアンスの Web ページからアクセスできます。Conversion Tool にアクセスする手順は、次のとおりです。

**ステップ 1** ACE CLI にログインします。

**ステップ 2** レイヤ 3 およびレイヤ 4 管理ポリシーを作成します。Cisco ACE アプライアンスの Web ページにリモートアクセスできるように、管理ポリシーでは最低限、HTTP トラフィックを許可する必要があります。ACE への Web アクセスをイネーブルにして、ACE の Web ページにアクセスするコンフィギュレーション例を示します。ACE へのリモートアクセスをイネーブルにする詳細については、『Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Administration Guide』を参照してください。

```
class-map type management match-any L4_REMOTE-ACCESS_CLASS
  description Enable remote access traffic to the ACE and the Cisco ACE Appliance web
  page
  2 match protocol xml-https any
  4 match protocol icmp any
  5 match protocol telnet any
  6 match protocol ssh any
  7 match protocol http any
  8 match protocol https any

policy-map type management first-match L4_REMOTE-ACCESS_MATCH
  class L4_REMOTE-ACCESS_CLASS
    permit

interface vlan 10
  ip address 192.168.215.134 255.255.255.0
  service-policy input L4_REMOTE-ACCESS_MATCH
  no shutdown

ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 192.168.215.1
```

**ステップ 3** Internet Explorer、Netscape Navigator など、任意のインターネット Web ブラウザ アプリケーションを開きます。

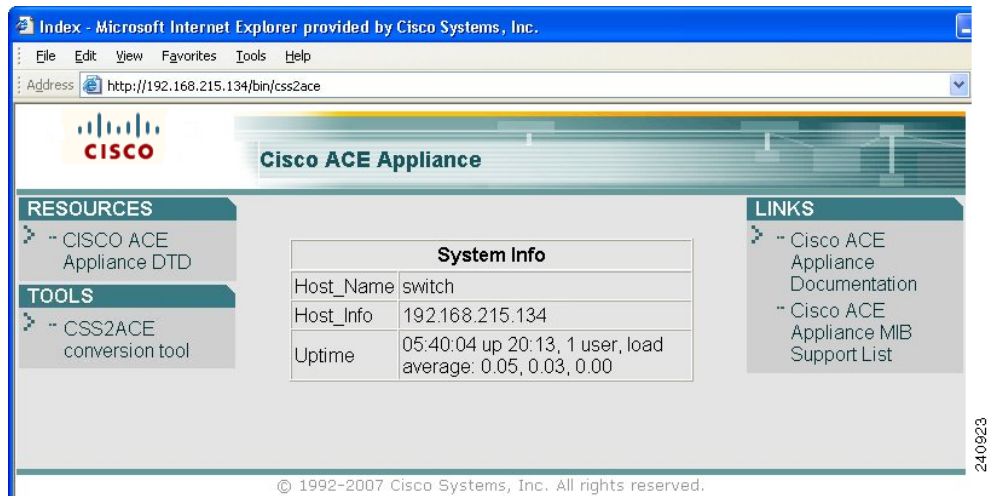
**ステップ 4** アドレス フィールドに ACE の HTTP アドレスを指定します。

```
http://ace_ip_address
```

Login ダイアログボックスが表示されます。

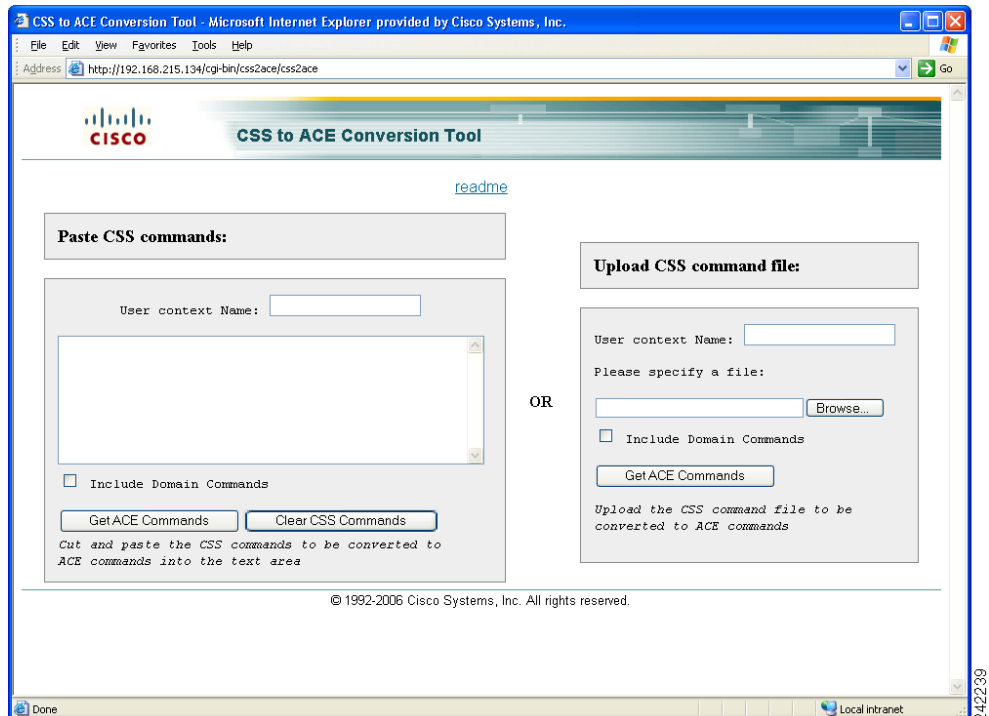
**ステップ 5** デフォルトの ACE 管理ユーザ アカウントにログインするには、ACE 管理ユーザ名とパスワードをフィールドに入力して、**OK** をクリックします。ACE の Web ページが表示されます (図 1)。

図 1 Cisco ACE アプライアンスの Web ページ



**ステップ 6** ACE Web ページの Tools セクションで **CSS2ACE conversion tool** リンクをクリックします。CSS-to-ACE Conversion Tool が表示されます (図 2)。「CSS-to-ACE Conversion Tool の使用」に進みます。

図 2 CSS-to-ACE Conversion Tool



## CSS-to-ACE Conversion Tool の使用

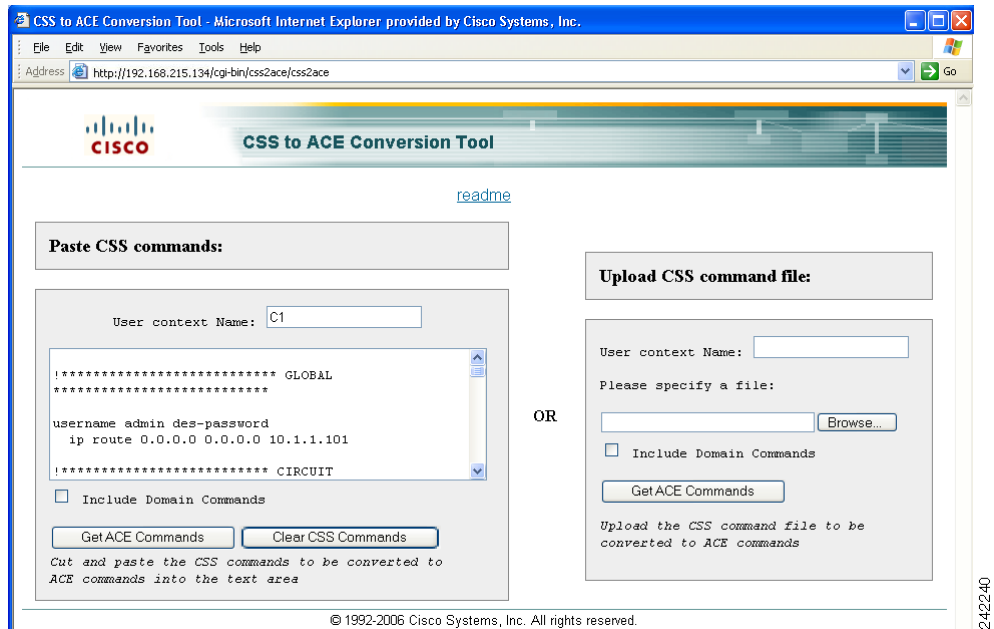
次のいずれかの方法で、CSS スタートアップ コンフィギュレーションまたは実行コンフィギュレーションを同等の ACE スタートアップ コンフィギュレーションまたは実行コンフィギュレーションに変換できます。

- 保存してあった CSS コンフィギュレーション ファイルから、または CSS **show running-config** コマンドまたは **show startup-config** コマンドの出力から、内容をコピーして Conversion Tool ツールにペーストします。
- 保存してあった CSS コンフィギュレーション ファイルを Conversion Tool にアップロードします。

Conversion Tool を使用して CSS コンフィギュレーションを変換する手順は、次のとおりです。

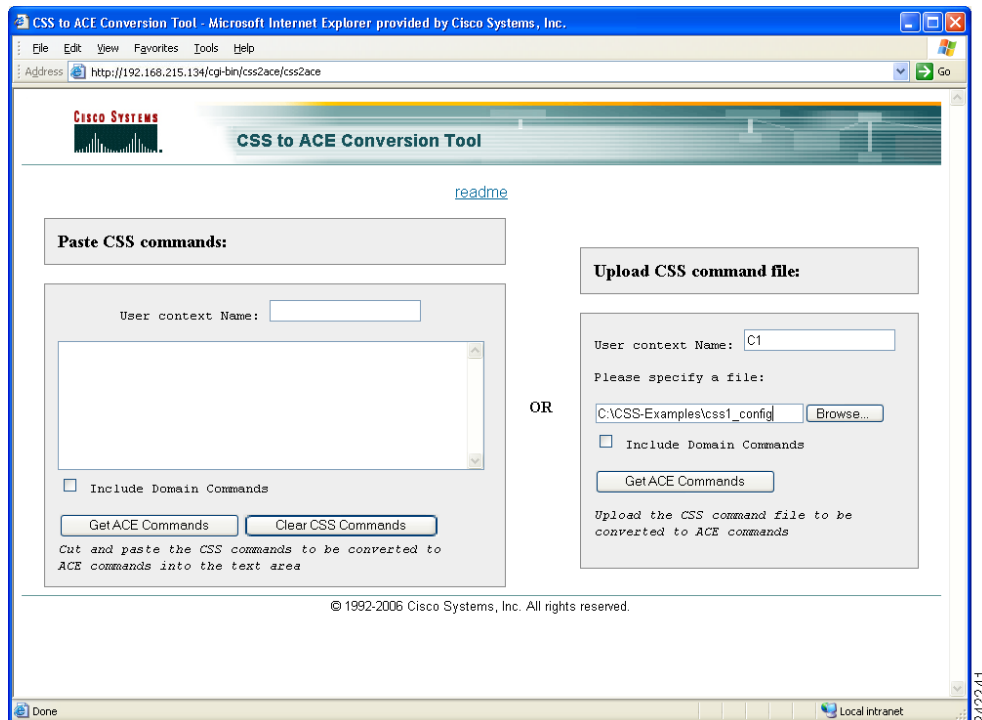
- ステップ 1** ACE ではデフォルトで、管理コンテキストが常にターゲット仮想コンテキストとして想定されます。CSS コンフィギュレーションを別の仮想コンテキスト (C1 など) に移行させる場合は、該当する仮想コンテキスト名を User context Name: テキスト ボックスに指定します (図 3 を参照)。Conversion Tool によって、管理コンテキストに対応する ACE コンフィギュレーションが生成され、要求された仮想コンテキストが作成されます。
- ステップ 2** 保存してあった CSS コンフィギュレーション ファイルから、または CSS show running-config コマンドまたは show startup-config コマンドの出力から、Conversion Tool の Paste CSS commands: セクションのテキスト エリアに、コンフィギュレーション全体をコピー アンド ペーストして、内容を追加します (図 3 を参照)。ステップ 4 に進みます。

図 3 CSS-to-ACE Conversion Tool に CSS コンフィギュレーションの内容をペーストする方法



- ステップ 3** **Browse** をクリックして、Conversion Tool にアップロードする CSS コンフィギュレーション ファイルを選択します。変換する CSS コンフィギュレーション ファイルに移動して、**Open** をクリックします。Conversion Tool の Upload CSS command file: セクションに、CSS コンフィギュレーション ファイルが表示されます (図 4 を参照)。ステップ 4 に進みます。

図 4 CSS コンフィギュレーション ファイルのアップロード



**ステップ 4** ドメインを作成して、オブジェクトに移行する場合は、**Include Domain Commands** をクリックします。CSS コンバージョンの一部としてドメインを自動的に追加すると、コンフィギュレーションが不必要に長くなる場合があります。Include Domain Commands チェックボックスで、CSS ドメインをアクティブに含めるか、あるいは含めないか、柔軟に選択できます。Include Domain Commands チェックボックスをチェックすると、CSS コンフィギュレーションには所有者グループに属するコンテンツが含まれている場合、以降すべてのドメインがコンバージョンの一部として作成されます。

**ステップ 5** **Get ACE コマンド** をクリックして、CSS コマンドを変換します。ツールによって、CSS スタートアップまたは実行コンフィギュレーションが同等の ACE スタートアップまたは実行コンフィギュレーションに変換されます (図 5)。

図 5 CSS コマンドから ACE コマンドへの変換例



さらに、元のコンフィギュレーションファイルの CSS コマンドが表示されます (図 6)。

図 6 変換された CSS コマンドの要約例

```

CSS commands:

!***** GLOBAL *****

username admin des-password
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 10.1.1.101

!***** CIRCUIT *****

circuit VLAN1
ip address 10.1.1.254 255.255.255.0

!***** SERVICE *****

service Server1
ip address 10.1.1.1
keepalive type http
keepalive uri "/"
active

service Server2
ip address 10.1.1.2
keepalive type http
keepalive uri "/"
active

service Server3
ip address 10.1.1.3
keepalive type http
keepalive uri "/"
weight 5

!--- Makes the server get hit more often.
!--- The default weight is 1.

active

!***** OWNER *****

owner foo.com
content L3_LeastConnections
vip address 10.1.1.100
add service Server1
add service Server2
add service Server3
balance leastconn

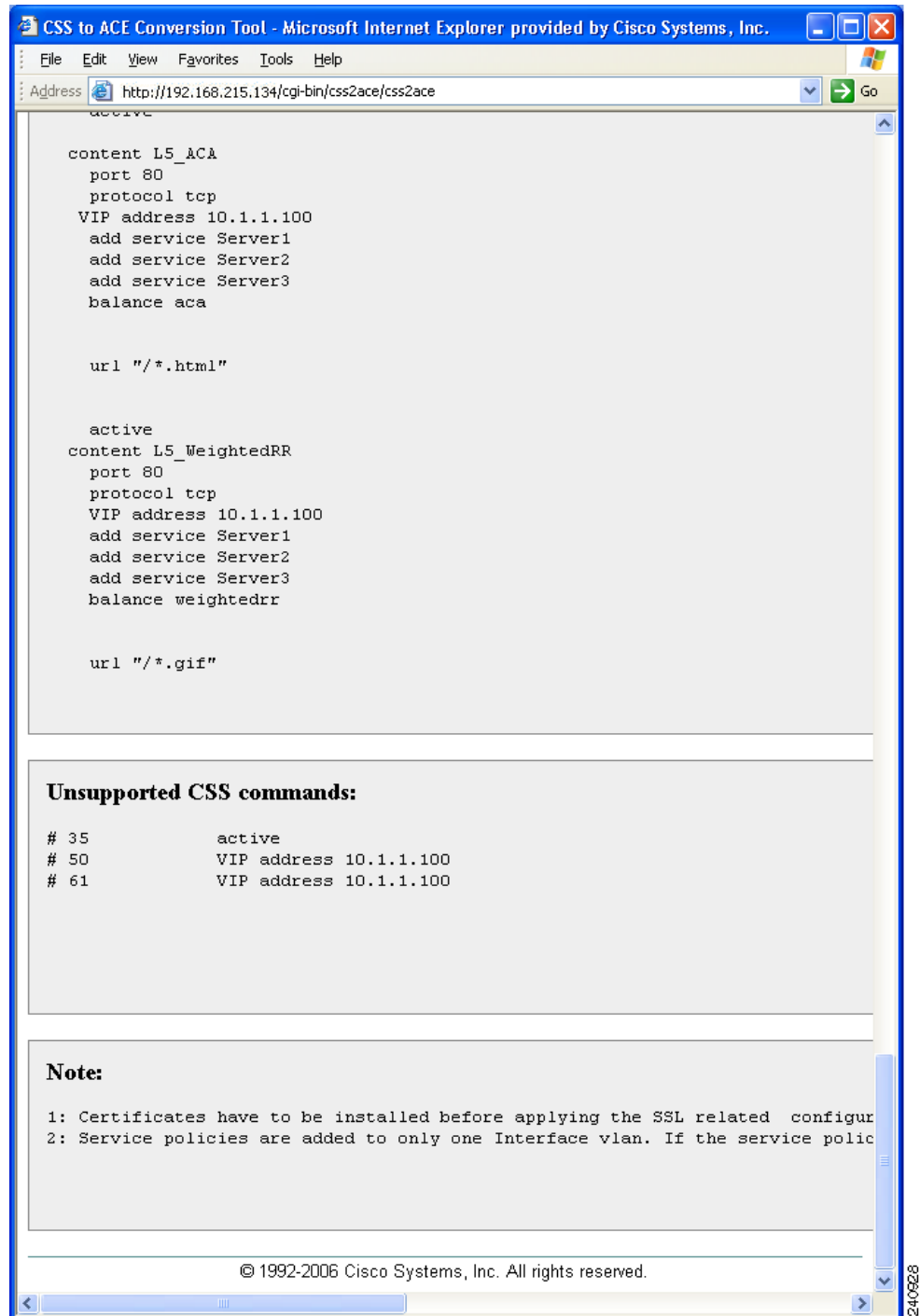
active
content L3_RoundRobin
vip address 10.1.1.100
VIP address 10.1.1.100
add service Server1
add service Server2
add service Server3

```

240827

Conversion Tool には、サポートしない CSS コマンドのリストも組み込まれています (図 7)。Notes セクションに、必要に応じて詳細が表示されます。「変換されたコンフィギュレーションの確認および変更」に進みます。

図 7 サポート対象外の CSS コマンド





## 変換されたコンフィギュレーションの確認および変更

ACE の CLI に変換された CSS コンフィギュレーションをコピーアンドペーストする前に、変換されたコンフィギュレーションをテキストファイルの形で入念に確認し、使用するネットワークトポロジや配置に応じて、内容を変更することを推奨します。この作業により、ACE CLI プロンプトに変換後の CSS コンフィギュレーションテキストファイルをコピーする前に、潜在的な問題や衝突を回避できます。

変換された CSS コンフィギュレーションを確認したり変更したりする場合は、コンフィギュレーションに関する次の注意事項に従ってください。

- CSS では、デフォルト値は手動で値を入力した場合を含めて、実行コンフィギュレーションファイルまたはスタートアップコンフィギュレーションファイルに表示されません。再試行間隔、頻度、想定ステータスなどのプローブ（キープアライブ）に対応する CSS のデフォルト設定値は、Conversion Tool によって ACE コンフィギュレーションに自動的に変換されます。ただし、変換されたコンフィギュレーションのその他のエリアについては、稼働前に検証、編集、テストを行い、他の CSS デフォルトが ACE コンフィギュレーションに正しく移植されているかどうかを確認する必要があります。
- NAT（ネットワークアドレス変換）関連の CSS コンフィギュレーションを適用する目的で、値が最小の VLAN がクライアント側 VLAN になり、次に値が大きい VLAN がサーバ側 VLAN になります。別のインターフェイス VLAN に NAT コンフィギュレーションを適用する場合は、手動でコンフィギュレーションを変更します。背景の詳細については、『Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Routing and Bridging Configuration Guide』を参照してください。
- サービスコンフィギュレーションモードの **keepalive hash** コマンドでは、32 ビット以外のハッシュストリングを指定していた場合、デフォルトのハッシュ値が使用されます。
- 現在、サービスコンフィギュレーションモードの **keepalive type script** コマンドはサポートされていません。スクリプト型の各キープアライブは、ACE 上で Toolkit Command Language (TCL) スクリプトを使用して、手動で設定する必要があります。背景の詳細については、『Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Server Load-Balancing Configuration Guide』を参照してください。
- サービスポリシーが追加されるインターフェイス VLAN は 1 つだけです。別のインターフェイス VLAN にサービスポリシーを適用する場合は、手動でコンフィギュレーションを変更します。背景の詳細については、『Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Routing and Bridging Configuration Guide』を参照してください。
- ACE 上の関連コンテキストにすべての SSL 証明書をインポートしてから、SSL 関連のコンフィギュレーションを適用する必要があります。背景の詳細については、『Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance SSL Configuration Guide』を参照してください。
- Conversion Tool は、サービスコンフィギュレーションモードの **ip address** コマンドの **range** オプションを変換しません。変換するのは、最初の IP アドレスだけです。range オプションで指定された残りの IP アドレスごとに、個別の実サーバを作成し、それらの実サーバを適切なサーバファームに追加する必要があります。背景の詳細については、『Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Server Load-Balancing Configuration Guide』を参照してください。
- Conversion Tool は出力でデフォルトインターフェイスギガビットイーサネットコンフィギュレーションを作成し、CSS コンフィギュレーションに含まれていた VLAN メンバを追加します。ネットワークトポロジや配置に合わせて、これらのコンフィギュレーションを手動で変更してください。背景の詳細については、『Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Routing and Bridging Configuration Guide』を参照してください。
- Conversion Tool は、CSS コンテンツルールごとに別々のレイヤ 7 ポリシーマップを作成します。複数のコンテンツルールで同じ VIP を共有する場合でも、レイヤ 7 ポリシーマップが個別に作成されるので、有効なのはそのうちの 1 つのポリシーマップだけになります。同じ VIP を共有するには、これらのレイヤ 7 ポリシーマップを手動で結合してください。背景の詳細については、『Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Server Load-Balancing Configuration Guide』を参照してください。

- Conversion Tool が変換後のサービス ポリシーを、ACE 上のコンテキストと関連付けられたすべての使用可能な VLAN インターフェイスにグローバルに適用します。特定のサービス ポリシーを VLAN インターフェイスに適用したい場合は、VLAN インターフェイスにトラフィック ポリシーを手動で添付する必要があります。
- Conversion Tool は、**permit ip any any** グローバル アクセス リストを作成して CSS allow-all 機能と一致させ、このアクセス リストをすべての VLAN インターフェイスに自動的に適用します。

変換時にサポートされない CSS CLI コマンドについては、「[サポート対象外の CSS コマンド](#)」を参照してください。

変換後の出力コンフィギュレーションを確認する手順は、次のとおりです。

- 
- ステップ 1** Conversion Tool の ACE commands: セクションに表示された変換後のコンフィギュレーション全体 (図 5 を参照) をテキスト ファイルにコピーします。このテキスト ファイルを適切な名前のコンフィギュレーション ファイルとして保存します。
- ステップ 2** テキスト ファイルの出力コンフィギュレーションを検証し、ネットワーク トポロジや配置に基づいて、このテキスト ファイルを適切に変更します。
- ステップ 3** 変更したコンフィギュレーション テキスト ファイルを保存します。
- ステップ 4** 「[変換されたコンフィギュレーション ファイルの ACE へのコピーアンドペースト ACE](#)」の手順に従って、変更したコンフィギュレーション テキスト ファイルの内容を ACE の CLI プロンプトに直接コピーします。
-

## 変換されたコンフィギュレーション ファイルの ACE へのコピー アンド ペースト ACE

変換後のコンフィギュレーションを ACE の CLI プロンプトに直接コピー アンド ペーストする手順は、次のとおりです。

**ステップ 1** 次のプロンプトに、ログイン ユーザ名およびパスワードを入力して、ACE にログインします。

```
switch login: xxxxxx
Password: yyyyyy
```

デフォルトでは、ユーザ名およびパスワードはどちらも **admin** です。

プロンプトが次のように変更されます。

```
switch/Admin#
```

**ステップ 2** 次のように、コンフィギュレーション モードにアクセスします。

```
switch/Admin# configure
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z
```

プロンプトが次のように変更されます。

```
switch/Admin(config)#
```

**ステップ 3** 変換されたコンフィギュレーションの Admin Context: セクションの内容全体をコピーします (図 5 を参照)。コピーした Admin Context: の内容を ACE CLI のコンフィギュレーション モード プロンプトにペーストします。複数のコンテキストで動作している場合、この手順によって、Conversion Tool の User context Name: テキスト ボックスで指定した新しい仮想コンテキストが自動的に作成されます。

入力例を示します。

```
switch/Admin(config)# resource-class RC1
switch/Admin(config-resource)# limit-resource sticky minimum 10 maximum unlimited
switch/Admin(config-resource)# context C1
switch/Admin(config-context)# member RC1
switch/Admin(config-context)#
```

**ステップ 4** 複数のコンテキストで動作している場合は、CLI プロンプトを観察して、適切なコンテキストで動作しているかどうかを確認します。必要に応じて、EXEC モードで **changeto** コマンドを使用し、適切なコンテキストに切り替えます。

```
switch/Admin(config-context)# exit
switch/Admin(config)#
switch/Admin(config)# exit
switch/Admin# changeto C1
switch/C1# configure
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z
switch/C1(config)#
```

**ステップ 5** 変換されたコンフィギュレーションの Configuration Commands for xx Context: の内容全体をコピーします (図 5 を参照)。コピーした Configuration Commands for xx Context: の内容を ACE CLI のコンフィギュレーション モード プロンプトにペーストします。

変換されたコンフィギュレーション C1 コンテキストにコピーする場合の入力例を示します。

```
switch/C1(config)# probe http Server1_PROBE
switch/C1(config-probe-http)# request method head url "/"
switch/C1(config-probe-http)# probe http Server2_PROBE
switch/C1(config-probe-http)# request method head url "/"
switch/C1(config-probe-http)# probe http Server3_PROBE
switch/C1(config-probe-http)# request method head url "/"
switch/C1(config-probe-http)#
switch/C1(config-probe-http)# rserver host Server1
switch/C1(config-rserver-host)# inservice
switch/C1(config-rserver-host)# ip address 10.1.1.1
switch/C1(config-rserver-host)# probe Server1_PROBE
switch/C1(config-rserver-host)# rserver host Server2
switch/C1(config-rserver-host)# inservice
switch/C1(config-rserver-host)# ip address 10.1.1.2
switch/C1(config-rserver-host)# probe Server2_PROBE
switch/C1(config-rserver-host)# rserver host Server3
switch/C1(config-rserver-host)# ip address 10.1.1.3
switch/C1(config-rserver-host)# probe Server3_PROBE
switch/C1(config-rserver-host)# weight 5
switch/C1(config-rserver-host)#
switch/C1(config-rserver-host)# serverfarm host L3_LeastConnections
switch/C1(config-sfarm-host)# predictor leastconns
switch/C1(config-sfarm-host)# rserver Server1
switch/C1(config-sfarm-host-rs)# rserver Server2
switch/C1(config-sfarm-host-rs)# rserver Server3
switch/C1(config-sfarm-host-rs)# serverfarm host L3_RoundRobin
switch/C1(config-sfarm-host)# rserver Server1
switch/C1(config-sfarm-host-rs)# rserver Server2
switch/C1(config-sfarm-host-rs)# rserver Server3
switch/C1(config-sfarm-host-rs)# inservice
switch/C1(config-sfarm-host-rs)# serverfarm host L5_ACA
.
```

**ステップ 6** (任意) 次のように、更新された実行またはスタートアップ コンフィギュレーション ファイルの内容を保存します。

- スタートアップ コンフィギュレーション ファイルの内容を実行コンフィギュレーション ファイルにマージする場合は、**copy startup-config running-config** コマンドを使用します。
- 実行コンフィギュレーション ファイルの内容をフラッシュ メモリのスタートアップ コンフィギュレーション ファイルにコピーする場合は、**copy running-config startup-config** コマンドを使用します。

「[コピーしたコンフィギュレーション ファイルを ACE に使用させる例 ACE](#)」に進みます。

## コピーしたコンフィギュレーション ファイルを ACE に使用させる例 ACE

変換された CSS-to-ACE コンフィギュレーションを ACE にコピーしたあとで、次のコマンドを使用して、実行またはスタートアップ コンフィギュレーション ファイルの更新された内容を表示します。

- 実行コンフィギュレーション ファイルを表示する場合は、**show running-config** コマンドを使用します。
- スタートアップ コンフィギュレーション ファイルを表示する場合は、**show startup-config** コマンドを使用します。

**show running-config** コマンドの出力例を示します。この例には、ACE マニュアル セットの該当する章のハイパーテキスト相互参照が含まれており、コンフィギュレーションの詳細を参照できます。コマンド出力の上にある URL をクリックすると、コンフィギュレーションの詳細を確認でき

ます。必要に応じて ACE CLI コマンドを使用して、コンフィギュレーションを変更します。

```

switch/C1# show running-config
Generating configuration...

!
http://www.cisco.com/en/US/docs/app\_ntwk\_services/data\_center\_app\_services/ace\_appliances/vA3\_1\_0/configuration/slb/guide/probe.html
probe http Server1_PROBE
    request method head
probe http Server2_PROBE
    request method head
probe http Server3_PROBE
    request method head

!
http://www.cisco.com/en/US/docs/app\_ntwk\_services/data\_center\_app\_services/ace\_appliances/vA3\_1\_0/configuration/slb/guide/rsfarms.html
rserver host Server1
    ip address 10.1.1.1
    probe Server1_PROBE
    inservice
rserver host Server2
    ip address 10.1.1.2
    probe Server2_PROBE
    inservice
rserver host Server3
    ip address 10.1.1.3
    probe Server3_PROBE
    weight 5

!
http://www.cisco.com/en/US/docs/app\_ntwk\_services/data\_center\_app\_services/ace\_appliances/vA3\_1\_0/configuration/slb/guide/rsfarms.html
serverfarm host L3_LeastConnections
    predictor leastconns
    rserver Server1
    rserver Server2
    rserver Server3
serverfarm host L3_RoundRobin
    rserver Server1
    rserver Server2
    rserver Server3
    inservice
serverfarm host L5_ACA
    rserver Server1
    rserver Server2
    rserver Server3
serverfarm host L5_WeightedRR
    rserver Server1
    rserver Server2
    rserver Server3

!
http://www.cisco.com/en/US/docs/app\_ntwk\_services/data\_center\_app\_services/ace\_appliances/vA3\_1\_0/configuration/slb/guide/classlb.html
class-map match-all L3_LeastConnections_CLASS
    2 match virtual-address 10.1.1.100 any
class-map match-all L3_RoundRobin_CLASS
    2 match virtual-address 10.1.1.100 any
class-map match-all L5_ACA_CLASS
    2 match port tcp eq www
class-map type http loadbalance match-all L5_ACA_CLASSURL
    2 match http url /*.html
class-map match-all L5_WeightedRR_CLASS
    2 match port tcp eq www
class-map type http loadbalance match-all L5_WeightedRR_CLASSURL
    2 match http url /*.gif

```

```

!http://www.cisco.com/en/US/docs/app_ntwk_services/data_center_app_services/ace_applia
nces/vA3_1_0/configuration/admin/guide/access.html
class-map type management match-any TO-CP-POLICY
  2 match protocol http any
  3 match protocol icmp any
  4 match protocol telnet any
  5 match protocol snmp any
  6 match protocol ssh any

!http://www.cisco.com/en/US/docs/app_ntwk_services/data_center_app_services/ace_applia
nces/vA3_1_0/configuration/admin/guide/access.html
policy-map type management first-match TO-CP-POLICY
  class TO-CP-POLICY
    permit

!
!http://www.cisco.com/en/US/docs/app_ntwk_services/data_center_app_services/ace_applian
ces/vA3_1_0/configuration/slb/guide/classlb.html
policy-map type loadbalance first-match L3_LeastConnections_POLICY
  class class-default
    serverfarm L3_LeastConnections
policy-map type loadbalance first-match L3_RoundRobin_POLICY
  class class-default
    serverfarm L3_RoundRobin
policy-map type loadbalance first-match L5_ACA_POLICY
  class L5_ACA_CLASSURL
    serverfarm L5_ACA
policy-map type loadbalance first-match L5_WeightedRR_POLICY
  class L5_WeightedRR_CLASSURL
    serverfarm L5_WeightedRR
policy-map multi-match POLICY
  class L5_WeightedRR_CLASS
  class L5_ACA_CLASS
  class L3_LeastConnections_CLASS
    loadbalance vip inservice
    loadbalance policy L3_LeastConnections_POLICY
    loadbalance vip icmp-reply active
  class L3_RoundRobin_CLASS
    loadbalance vip inservice
    loadbalance policy L3_RoundRobin_POLICY
    loadbalance vip icmp-reply active

!
!http://www.cisco.com/en/US/docs/app_ntwk_services/data_center_app_services/ace_applian
ces/vA3_1_0/configuration/slb/guide/classlb.html
interface vlan 10
  ip address 192.168.10.50 255.255.255.0
  service-policy input TO-CP-POLICY
  service-policy input POLICY
  no shutdown

!
!http://www.cisco.com/en/US/docs/app_ntwk_services/data_center_app_services/ace_applian
ces/vA3_1_0/configuration/slb/guide/rsfarms.html
domain foo.com
  add-object serverfarm L3_LeastConnections
  add-object serverfarm L3_RoundRobin
  add-object serverfarm L5_ACA
  add-object serverfarm L5_WeightedRR
  add-object rserver Server1
  add-object rserver Server2
  add-object rserver Server3

```

## サポート対象外の CSS コマンド

このツールは、CSS コマンドの大部分を、相当する ACE コマンドに変換します。変換後の出力には、変換処理時にツールがサポートしないコマンドのリストが含まれています (図 8)。

図 8 CSS-to-ACE Conversion Tool のサポート対象外の CSS コマンド エリア

```

Unsupported CSS commands:
# 35         active
# 50         VIP address 10.1.1.100
# 61         VIP address 10.1.1.100
    
```

[top of page](#)

240929

表 1 に、ACE では同等の機能がなく、Conversion Tool がサポートしない CSS コマンドおよびコマンド オプションの概要を示します。リストのサポート対象外の CSS コマンドは、グローバル コンフィギュレーション モードに基づいています。

表 1 ACE でサポートされない CSS コマンド

CSS コマンド	
グローバル コンフィギュレーション モード	
bypass persistence	persistence reset、remap オプション
flow permanent port	restrict ftp
flow persist-span-ooo	slowstart rate
flow set-port-zero	snmp trap-source
flow-state <i>port_number</i>	sshd、server-keybits オプション
flow-state flow-disable timeout	tacacs-server frequency
flow tcp-reset-on-vip-unavailable	tcp-ip-fragment-enabled
http-method parse	udp-ip-fragment-enabled
http-redirect-option	



表 1 ACE でサポートされない CSS コマンド (続き)

CSS コマンド	
コンテンツ コンフィギュレーション モード コマンド	
次の <b>add</b> コマンド <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>add dns</b></li> <li>• <b>add location-service</b></li> <li>• <b>add sasp-agent</b></li> </ul>	<b>dnsbalance</b>
<b>advanced-balance</b> コマンドの次のオプション <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>cookieurl</b></li> <li>• <b>sip-call-id</b></li> <li>• <b>ssl</b></li> <li>• <b>ssl-l4-fallback</b></li> <li>• <b>url</b></li> <li>• <b>wap-msisdn</b></li> </ul>	<b>dns-disable-local</b>
<b>application</b> コマンドの次のオプション <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>realaudio-control</b></li> <li>• <b>sip</b></li> <li>• <b>ssl</b></li> </ul>	<b>failover</b>
<b>balance</b> コマンドの次のオプション <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>aca</b></li> <li>• <b>domain</b></li> <li>• <b>url</b></li> </ul>	<b>flow-reset-reject</b>
	<b>hotlist</b>
	<b>load-threshold</b>
	<b>persistent</b>
	<b>sticky-serverdown-failover</b>
	<b>string-prefix</b>
	<b>url eq1</b>
	<b>url dql</b>
	<b>url urql</b>
	<b>vip-ping-response</b>
ヘッダーフィールド グループ コンフィギュレーション モード	
<b>header-field<sup>1</sup></b>	
インターフェイス コンフィギュレーション モード コマンド	
<b>max-idle</b>	<b>phy 1Gbits-FD-sym</b>
<b>phy 1Gbits-FD-asym</b>	<b>phy 1Gbits-FD-no-pause</b>
キープアライブ コンフィギュレーション モード コマンド	
<b>active</b>	<b>suspend</b>
オーナー コンフィギュレーション モード コマンド	
次の <b>owner</b> コマンド <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>address</b></li> <li>• <b>billing-info</b></li> <li>• <b>case</b></li> <li>• <b>content</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>description</b></li> <li>• <b>dns</b></li> <li>• <b>dnsbalance</b></li> <li>• <b>email-address</b></li> </ul>
レポーター コンフィギュレーション モード コマンド	
すべてのコマンド	
RMON アラーム コンフィギュレーション モード コマンド	
すべてのコマンド	

表 1 ACE でサポートされない CSS コマンド (続き)

CSS コマンド	
RMON イベント コンフィギュレーション モード コマンド	
すべてのコマンド	
RMON ヒストリ コンフィギュレーション モード コマンド	
すべてのコマンド	
サービス コンフィギュレーション モード コマンド	
<b>access ftp</b>	<b>type</b> コマンドの次のオプション <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>nci-direct-return</b></li> <li>• <b>nci-info-only</b></li> <li>• <b>proxy-cache</b></li> <li>• <b>redundancy-up</b></li> <li>• <b>rep-cache-redirect</b></li> <li>• <b>rep-store</b></li> <li>• <b>rep-cache-redirect</b></li> </ul>
<b>bypass-hosttag</b>	
<b>cache-bypass</b>	
<b>compress</b> 、 <b>tcp</b> オプション	
<b>ip address</b> 、 <b>range number</b> オプション	
<b>keepalive type script</b>	
<b>protocol</b>	
<b>publisher</b>	
<b>string</b>	
<b>subscriber</b>	
<b>transparent-hosttag</b>	
SSL プロキシリスト コンフィギュレーション モード コマンド	
<b>ssl-server number http-header</b>	<b>ssl-server number tcp</b>

- ACE は大部分のフィールドタイプ変数をサポートしますが、次の選択枝は例外です：**custom**、**msisdn**、および **request-line**。ACE は大部分の演算子変数の変換をサポートしますが、演算子 **not-equal**、**not-exist**、および **not-contain** は例外です。

## ACE アプライアンスのマニュアル

www.cisco.com にある ACE アプライアンスのマニュアルには、次の URL からアクセスできます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps7027/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps7027/tsd_products_support_series_home.html)

ACE アプライアンスを理解するには、次のマニュアルを参照してください。

- 『*Release Note for the Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance*』
- 『*Cisco 4710 Application Control Engine Appliance Hardware Installation Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Administration Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Application Acceleration and Optimization Configuration Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance CLI Quick Configuration Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Command Reference*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Device Manager GUI Configuration Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Device Manager GUI Quick Configuration Note*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Routing and Bridging Configuration Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Security Configuration Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Server Load-Balancing Configuration Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance SSL Configuration Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance System Message Guide*』
- 『*Cisco 4700 Series Application Control Engine Appliance Virtualization Configuration Guide*』

## マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、マニュアルに関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、および推奨エイリアスや一般的なシスコのマニュアルについては、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

### シスコのテクニカル サポート

次の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。

<http://www.cisco.com/en/US/support/index.html>

以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。

- テクニカル サポートを受ける
- ソフトウェアをダウンロードする
- セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける
- ツールおよびリソースへアクセスする
  - Product Alert の受信登録
  - Field Notice の受信登録
  - Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索
- Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する
- トレーニング リソースへアクセスする
- TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する

Japan テクニカル サポート Web サイトでは、Technical Support Web サイト (<http://www.cisco.com/techsupport>) の、利用頻度の高いドキュメントを日本語で提供しています。

Japan テクニカル サポート Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

### Service Request ツールの使用

Service Request ツールには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

日本語版の Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac/sr/>

シスコの世界各国の連絡先一覧は、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

## その他の情報の入手方法

シスコの製品、サービス、テクノロジー、ネットワークング ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインで入手できます。

- シスコの E メール ニュースレターなどの配信申し込みについては、Cisco Subscription Center にアクセスしてください。  
<http://www.cisco.com/offer/subscribe>
- 日本語の月刊 Email ニュースレター「Cisco Customer Bridge」については、下記にアクセスください。  
[http://www.cisco.com/web/JP/news/cisco\\_news\\_letter/ccb/](http://www.cisco.com/web/JP/news/cisco_news_letter/ccb/)
- シスコ製品に関する変更やアップデートの情報を受信するには、Product Alert Tool にアクセスし、プロファイルを作成して情報の配信を希望する製品を選択してください。Product Alert Tool には、次の URL からアクセスできます。  
<http://tools.cisco.com/Support/PAT/do/ViewMyProfiles.do?local=en>
- 『Cisco Product Quick Reference Guide』はリファレンス ツールで、パートナーを通じて販売されている多くのシスコ製品に関する製品概要、主な機能、製品番号、および簡単な技術仕様が記載されています。『Cisco Product Quick Reference Guide』を発注するには、次の URL にアクセスしてください。  
<http://www.cisco.com/go/guide>
- ネットワークの運用面の信頼性を向上させることのできる最新の専門的サービス、高度なサービス、リモート サービスに関する情報については、Cisco Services Web サイトを参照してください。Cisco Services Web サイトには、次の URL からアクセスできます。  
<http://www.cisco.com/go/services>
- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの書籍、参考資料、マニュアル、ロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスできます。  
<http://www.cisco.com/go/marketplace/>
- DVD に収録されたシスコの技術マニュアル (Cisco Product Documentation DVD) は、Product Documentation Store で発注できます。Product Documentation Store には、次の URL からアクセスできます。  
<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>
- 日本語マニュアルの DVD は、マニュアルセンターから発注できます。マニュアルセンターには下記よりアクセスください。  
[http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/manual\\_center/index.shtml](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/manual_center/index.shtml)

CCDE, CCVP, Cisco Eos, Cisco StadiumVision, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. 「パートナー」という用語を使用している、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0801R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco CSS-to-ACE Conversion Tool ユーザガイド  
Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2008, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を発行しています。Cisco Press には、次の URL からアクセスできます。  
<http://www.ciscopress.com>
- 日本語のシスコプレスの情報は以下にアクセスください。  
<http://www.seshop.com/se/ciscopress/default.asp>
- 『*Internet Protocol Journal*』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『*Internet Protocol Journal*』には、次の URL からアクセスできます。  
<http://www.cisco.com/ipj>
- 『*What's New in Cisco Product Documentation*』は、シスコ製品の最新マニュアルリリースに関する情報を提供するオンライン資料です。毎月更新されるこの資料は、製品カテゴリ別にまとめられているため、目的の製品マニュアルを見つけることができます。  
<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>
- シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。  
[http://www.cisco.com/public/countries\\_languages.shtml](http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml)

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。  
本書とあわせてご利用ください。

**Cisco.com 日本語サイト**

[http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/)

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

**シスコシステムズマニュアルセンター**

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、  
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間 : 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00